
YUIが悪と闘ったら 5

pokemomtyan

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

YUIが悪と闘ったら5

【Nコード】

N1461T

【作者名】

pokemonmtyan

【あらすじ】

ローズガーデンに行く。

もしも（前書き）

何かあったら書いてね。

もしも

YUI達は町でショッピングをしていた。YUI(楽しいね。)ケイト(こつちには、ローズガーデンがあるよ。)見事なバラが咲いている公園だった。YUI(うわ〜綺麗!)ウイリアム(昔、ケイトとは大学生時代に此処には来ていたんだ。)ケイト(安いしね。)皆は暫く公園を歩いた。YUI(彼奴がいけないけど・・・神崎さん?見失いましたか?)神崎(いや・・・ちよつと目を離すとこれなんですよ・・・)神崎昂は頭を痛めた。ケイト(きゃ叫!あ・あそこに居る・・・)YUI菅直人はローズガーデンのバラを食べていた。菅(くっそ)。棘が多くて食べづらいな。)YUI(くらあ怒!長芋!何を食べてるんじゃない!)YUIは菅の頭を叩いた。菅(また、お前菅!怒りっぽい性格だな。)YUI(イラ菅のお前に私を批判する権利は無い!病気が怒!)菅(何って。このバラは食べられるんだろ?サラダ用のカーネーションやサラダ用のバラが百貨店で売ってるじゃないか?学習をしろ!)菅は棘を抜きながら食べ続けた。YUI(お前・・・)菅(うん。旨いぞ。ほれYUIお前も食べ・・・)神崎(アホ・・・)だつたら、棘ごと食べやがれこの腑抜けが怒!)神崎は棘の付いたバラを菅の口に無理やり入れた。菅(痛い!口中血だらけだ!)ケイト(ほつときましよう・・・)YUI(うん。)4人はウエスターミンスター宮殿に向かった。YUI(うわ〜大きいお城ね!)ケイト(違うよ。此処は・・・)菅(か〜んかんかんかん無知なお前に説明をしてやる。此処は国会議事堂なのだ!政治家達が政治を語る場所だ!選挙にもい菅、貴様には分からだろ。)YUI(長芋・・・鼻水出てるぞ。)菅(失敬、失敬・・・)ケイトさん!私の鼻をかんでくれませんか?)ケイト(シャラップ叫!)菅はピントを喰らった。菅神崎(それ以上言うな!)菅はブーツの蹴りを諸に男のシンボルに喰らった。菅(痛い・・・泣)菅は悶絶しながら目の前の河川に落ちた。YUI(うるさい奴が消えたね?)神崎(

八八八。でも、僕もケイトさんに股間を蹴られたいですがね。(Y
UI(さらつと、ケイトの前で言うな!)神崎はYUIに蹴られた。
神崎(急所が!!痛い・YUIタン・ハアハア。もつと蹴って
ください!)(YUI(皆ほつとこう。)(ウイリアム(それにしても、
菅が上がってこないな?)(ケイト(ほつときましよう。其れよりも、
もう11時にこの前をパレードが通るから、早めの昼ごはんを食
べましょう)(神崎の目つきが一瞬変わった。神崎(私。ちよつと
お手洗いに行つてきて良いですか?)(ケイト(私達は先に食べてお
くよ。)(YUI(そのこの通りの料理店にいますから。)(神崎(直ぐ
に戻ります。)(神崎は人通りの少ない裏路地に入り携帯電話をかけ
た。神崎(オイ。俺だ。急いで仕度をしろ。予定より1時間も早く
にイギリス海軍のパレードが始まるぞ。)?(第1軍ですかね?)(
神崎(そうだ・休憩所に入りそうか?)(あつ!見えてきました。
騎馬隊が先頭に居て、その後ろに鼓笛隊が。)(神崎(休憩所に
入つてから、奴等が一息着いた所を狙え・・)?(ハアア。確実に
仕留めます。)(神崎(第1軍が遅くても。その後第2軍と第3軍
が来るから、そいつ等がこの中央広場で反乱を起こす。)?(了解
いたしました。我がボスにも言つておきます。)(神崎(きるぞ。)(
電話をきつた。神崎(後はYUIか・フフ。この地方には珍しく
良く晴れているな。最高の反乱日だ。)(神崎はYUI達の待つ、
レストランに向かった。YUI(イギリス料理って不味いつて聞い
ただけど、このローストビーフは美味しい。)(菅(まあ、我が祖国の
韓国料理にはかなわんがな。)(ケイト(この料理は有名だからね。
(ウイリアム(しかし・何で来なかつたんだろ?)(YUI(何が
?)ウイリアム(いや、昨日の夜に日本から音楽家が来る予定だつ
ただけど、来なかつたんだよ。)(ケイト(まあ、お金を払う前だ
つたし良いんじゃないかな?)(ウイリアム(それもそうだな。)(Y
UI(私が今日、宿泊するホテルで歌を歌うよ。)(菅(おつ!良い
ね。へヒーローーションを弾いてくれ!)(YUI(お前な・・)
その時、神崎が戻ってきた。神崎(お待たせいたしました。道に迷

っていまして。) YUI (遅くないよ。 5分がらいじゃん。) 神崎
(隣に座ります。) 暫く食べていた。 ケイト (さて・パレードを
見に行こうか！) YUI (あれ？可笑しいな？) ケイト (どうした
の？) YUI (いや・ギターケースに楽譜を入れていたはずなの
に、さっきのローズガーデンで落としてみた。) 菅 (鈍臭いな。
まるで俺様みたいだな。) ウイリアム (あつ！素直に認めた。) Y
UI (ちよつと行ってくる！) ウイリアム (待って！ YUI。迷う
といけないから、僕のお付の第2軍兵士に護衛させるよ。 オイ！ Y
UIの護衛を頼むよ。) 兵士 (ハハ！) YUI (10人も多くない
？) ケイト (まあ、外国だしスリとか怖いからさ！) 菅 (早く戻っ
て来いよ。) 神崎 (パレードまで1時間はあるし、大丈夫ですよ。)
YUI (行ってくるね。) YUIは近道の裏路地を進んだ。 YUI
(薄暗いな・) 兵士 (YUI様・此方ではありませんよ。 こっ
ちです。) YUI (ありがとう。) しかし、進んでも薄暗い路地ば
かりで、等々、行き止まりまでできてしまった。 YUI (あれ？兵士
さん。道間違えてませんか？) 兵士は笑った。 兵士 (間違っています
んよ・此処は貴方が天国に旅立つ道ですから？) YUI (えっ？)
兵士 (死んでもらう・せやー！) 兵士はサーベルを抜き、 YUI
を斬りつけた。 YUI (危ない！くそう・お前等何者だ！) YU
Iもギターの仕込み刀を抜いた。 兵士 (私達はイギリス王室・イ
ギリス海軍の第2軍のメンバー達ですよ。不埒にも・ウイリアム
王子の命を狙うとは・アジア人。皆の者！抜刀！) 兵士たちはサ
ーベルを抜いた。 YUI (お前等・ウイリアムはそんな事はしな
い！私が斬ってやる！喰らえ！ again 斬り！) カキン、キン、
刃が混じり合う。 兵士 (ぐはあ。兵士の3人が斬られて、血しぶき
を上げて倒れた。) 兵士 (くそう・10分で3人も斬るとは・
私も左腕を斬られた。) YUI (直ぐに斬ってやる！) 兵士 (もの
凄い覇気だ・だが、片腕がある！死ぬ！) YUI (RUIDO 斬り
！) 兵士は斬られた。 兵士 (畜生・隊長も斬られて、残り3人だ・
・) YUI (誰が犯人だ！言え！) 兵士 (言うか！) YUI (斬る

！)その時、YUIは見聞色の力で後ろから殺気を感じた。YUI
(危ない!)後ろから銃弾が飛んできた。兵士(我々は第3軍だ!
大英帝国の名の下、YUIを撃つ!)兵士(形勢逆転だ!)第2軍
の兵士は笑った。YUI(ここじゃあ、勝てん。表に出よう!YUI
Iは走り抜けた。兵士(奴を仕留めろ!)YUI(ハアハア。どう
いう事だ?一体誰が?ウイリアムやケイトはそんな事しないし、菅
か?いや・最近、彼奴はそんな動きが無い。むしろゴマをすって
いる?)YUIは高く飛び、表通りに出た。兵士(国民達よ!そい
つは反乱者だ!協力してくれ!)民(何だって!よし。ロンドン
子の俺が仕留めてやる!)YUI(くそう。皆まで。)YUIは民
には峰打ちで気絶をさせて、兵士は斬っていった。YUI(ROL
Ling回転斬り!)YUIは回りながら、兵士達を斬っていった。
兵士(くそう・イギリス海軍に潜伏していたが、このままじゃあ
ボスに怒られる・至急援軍を呼べ!)YUI(次から次に・し
まった!銃を構えてる!)兵士(蜂の巣になれ!)兵士はライフル
を乱発したが、YUIは料理屋の鉄板で銃弾を防いだ。YUI(ハ
アハア。上に上るか。)兵士(逃がすな!追え!)YUIは梯子に
昇った。YUI(喰らえ!銃弾!)YUIは斬った兵士からピスト
ルをスリ、撃ちまくった。兵士(ぎゃ〜)YUI(数が増え続ける
・)その時屋根を伝って、一人の男がYUIに向かって来た。YU
I(敵か?)?(うわわ。違うねん!俺も旅行で来たのに、訳の分
からん奴に追われてるねん!俺は安全な場所を知ってるから一緒に
行こう!)YUI(貴方は確か・)その男は風変わりなパーカー
を着て、風変わりな帽子を被り、個性の強いチノパンを履き、日本
刀を腰に差していた。?(ん?確か、ギタリストのYUI屋だよな
?助けてやる・)YUIは男と逃げた。YUI(友達が!)?(Y
UI屋・遅い。もう、襲撃をされるやる。今は隠れとこ。)ケ
イト(YUI達、遅いな?)ウイリアム(パレードも遅いな・)ケ
神崎(一体、何があっただんでしょう?)菅(遅いな・)続

もしも（後書き）

意見を書いてください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1461t/>

YUIが悪と闘ったら5

2011年5月9日18時55分発行